

奄美地域国立公園指定推進調査費

54百万円（11百万円）

自然環境局国立公園課・自然環境計画課

1. 事業の概要

奄美地域は、我が国最大規模の亜熱帯照葉樹林や多くの固有動植物がみられ、生物多様性の保全上、日本のみならず世界的にも重要な地域である。そのため、平成24年9月に閣議決定された生物多様性国家戦略2012-2020においても、国立公園の指定を視野に入れた取組を進めることとされている。

また、平成15年に環境省及び林野庁が設置した「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美・琉球諸島は世界遺産としての価値を有する可能性が高い重要な地域として選定され、生物多様性国家戦略2012-2020においてはその世界自然遺産としての価値の分析評価等を進めることとしている。

このため、奄美地域を国立公園に指定するとともに、世界自然遺産に登録するため、次の事業を実施する。

①奄美地域国立公園指定推進調査

奄美地域を「生物多様性の豊かさを実感できる」新たなタイプの国立公園として保全と利用のあり方を検討し、科学的知見に基づく順応的保全管理体制を構築するため、モニタリング等の管理手法や利用プログラムの実施・検証を行う。

②奄美・琉球諸島の世界自然遺産推薦準備に係る事業

学識者により構成される科学委員会と自治体や地域団体を含む関係機関で構成される地域連絡会議を設置・運営し、推薦書及び推薦区域の案を作成し、適切に管理するための遺産地域の管理計画の策定を行う。

また、固有種や希少種等の貴重な自然環境情報データベースを構築するとともに、自然環境状況の評価指標等を検討する。

2. 事業計画

①奄美地域国立公園指定推進調査（モニタリング等管理手法及び利用プログラムの実施・検証）：平成25年度～

②奄美・琉球諸島の世界自然遺産推薦準備に係る事業：平成25～26年度

3. 施策の効果

新たな国立公園の指定により、優れた景観を有し、生物多様性保全上重要な奄美地域の保全と適切な利用を図る。また、奄美地域を含む奄美・琉球諸島を世界遺産条約に基づく世界遺産として登録し、当該地域の貴重な自然を将来世代に引き継ぐ。

奄美地域国立公園指定推進調査費

奄美群島の自然と文化

〈地史を反映した多くの固有動植物〉



アマミノクロウサギ

オオトラツグミ



オットンガエル

アマミセイシカ

〈自然と関わりの深い文化〉



〈日本最大の亜熱帯照葉樹林〉



〈北限のサンゴ礁、美しい海岸〉



生物多様性国家戦略2012-2020に基づき
国立公園指定に向けた取組が必要

久米島

奄美大島

喜界島

徳之島

沖永良部島

与論島

沖縄島

九州

沖縄

奄美・琉球諸島

沖縄県の自然

〈希少種・固有種〉



カナガネズミ

イリオモテヤマネコ

セマルハコガキ

ヤンバルクイナ

宮古島

与那国島

石垣島

多良間島

西表島

平成15年に奄美・琉球諸島を世界自然遺産候補地として選定
登録に向けた取組が必要

- 奄美地域における生物多様性の保全と利用のあり方の調査・検討
- 奄美・琉球諸島の世界自然遺産推薦準備
 - ・ 科学委員会、地域連絡会議の設置・運営
 - ・ 世界自然遺産としての価値の整理
 - ・ 推薦書（案）、推薦区域（案）の作成
 - ・ 遺産地域の管理計画（案）の策定
 - ・ 自然環境情報データベースの構築

- 生物多様性の豊かさと地域文化を実感できる国立公園の指定
- 奄美・琉球諸島の世界自然遺産登録